

抜群のチームワークで2度目の優勝を果たした松山国際チーム



# 松山国際16年ぶりV

## 四国クラブベテラン踏ん張った

第27回四国クラブ対抗決勝(9月6日、土佐山田CC、6936ヤード、パー72、17チーム136人参加)

クラブの誇りと名誉をかけ四国の座を競う決勝競技は、6位までが2打差刻みの大接戦のすえ松山国際チームが16年ぶり2度目のチャン

ピオンに輝いた。

8月開催予定が台風5号の接近で急ぎよ中止、異例の延期となった本大会、干天続きでグリーンは難しく距離もたつぷり。加えて記録的な極暑が選手達のスコアメイクを妨げた。

この中で若手、中堅、ベテランが最後まで集中力を切らさず安定した力を発揮した松山国際が、猛追する志度、鳴門チームをかわし栄冠を手にした。一方、実力を出し切れなかつた常連チームもあり団体戦の難しさを身にしみた。個人戦は森井国博(鳴門)西岡義和(四万十)の両選手が3アンダー69で二位を分け合った。成績次のとおり。

- 543 ⑪阿南545 ⑫四万十545
- ⑬松山シニア547 ⑭屋島548 ⑮今治540 ⑯愛媛548 ⑰レオマ高原558

▽個人の部①森井国博(鳴門)69、西岡義和(四万十)同③八坂

## 江西(シクラ)初タイトル 四国シニア 4度目の挑戦で



シニア優勝の江西選手

第27回四国シニア選手権(9月26・27日、徳島CC、6733ヤード、パー72、154人参加)

厳しい暑さを除けば晴天、微風の下で、5人がアンダーパーの混戦模様。3アンダー69で首位に立った小松将美選手(屋島)が最終日伸び悩み、中を、トップに打差の2位タイ発進の江西博文選手(シクラ)がフロントナイン6番のパーティから一気にスコアを伸ばし、トータル69アンダー138の好スコアで逆転優勝し

好コンディションの下で、ハイベルの熱戦が繰り広げられた。

初日、5人がアンダーパーの混戦模様。3アンダー69で首位に立った小松将美選手(屋島)が最終日伸び悩み、中を、トップに打差の2位タイ発進の江西博文選手(シクラ)がフロントナイン6番のパーティから一気にスコアを伸ばし、トータル69アンダー138の好スコアで逆転優勝し

第27回四国シニア選手権(9月26・27日、徳島CC、6733ヤード、パー72、154人参加)

厳しい暑さを除けば晴天、微風の下で、5人がアンダーパーの混戦模様。3アンダー69で首位に立った小松将美選手(屋島)が最終日伸び悩み、中を、トップに打差の2位タイ発進の江西博文選手(シクラ)がフロントナイン6番のパーティから一気にスコアを伸ばし、トータル69アンダー138の好スコアで逆転優勝し

## 炎天下頑張った 第2回 四国小中学生大会

第2回四国小中学生ゴルフ大会(四国ゴルフ連盟ジュニア委員会主催)は8月21日、新居浜CCで開かれ、4県から90人の児童生徒が参加し学年、男女別の5部門で日頃の練習の成果を競い合った。

今年には日本女子プロゴルフ協会(LPGA)のほか日本ゴルフ協会(LGA)も小学生大会を新設。児童の競技会が初めて全国規模に広

がるとあって、炎暑にめげず上位成績をめざす子供達の真剣なプレーが目立った。

大会事務局も熱中症の応急処置の仕方をまとめた文書を用意、スタート前に関係者に説明するなど万に備えたが、全員無事故で競技を終えた。各部門の優勝児童生徒は次のとおり。

▽小学生低学年の部 杉原大河

第2回 四国小中学生大会

(徳島論田小) 小学高学年男子 関谷太希 (愛媛味生第二小) 同・女子 田村友芽(徳島内町小)

▽中学の部男子 乃上真(香川第一中)同女子 堀奈津佳(徳島城西中)

なお、LGAの全国小学生大会(11月25日、茨城GC西コース)には高学年の部の優勝児童を含め男女各7名が出場する。



グランド優勝の藤岡選手



ミッドシニア優勝の長尾選手

第27回四国ジュニア選手権(7月26・27日、北条CC男子6799ヤード、パー72、94人参加、女子6105ヤード、同、35人参加)

15・17歳の部で男女とも高校1年生の活躍が目立った。特に男子は寒川、明徳勢を中心に全国レベルの激戦が展開され、原敏之選手(寒川高)が通算2アンダーで優勝した。同選手は12・14歳の部で連覇し今春、高校に進学した。各部門の成績次のとおり。

高1原選手(寒川)優勝 四国ジュニア選手権

第27回四国ジュニア選手権(7月26・27日、北条CC男子6799ヤード、パー72、94人参加、女子6105ヤード、同、35人参加)

15・17歳の部で男女とも高校1年生の活躍が目立った。特に男子は寒川、明徳勢を中心に全国レベルの激戦が展開され、原敏之選手(寒川高)が通算2アンダーで優勝した。同選手は12・14歳の部で連覇し今春、高校に進学した。各部門の成績次のとおり。



ジュニア優勝の片岡選手

第37回中四国オープン選手権(8月31日から2日間、広島県のリジャスタイルGCロイヤル(6939ヤード、パー72)で開かれ、四国から出場したアマチュアの片岡大育選手(写真、詫間)が通算7アンダーの137で、同スコア三好隆平とのプレーオフを制し初優勝した。三好は昨年のシニアツアー賞金王。同大会のママの優勝は1980年の倉本昌弘以来、実に27年ぶりの快挙。

片岡選手は今春、香川西高校を卒業したばかりの18歳。在学中からジュニア競技などで活躍、平成18年度四国アマ選手権では大会史上初の高校生チャンピオンとなり将来が期待されている10代プレーヤー。

片岡(細)がプレー オフ制し初優勝 第37回中四国オープン

第37回中四国オープン選手権(8月31日から2日間、広島県のリジャスタイルGCロイヤル(6939ヤード、パー72)で開かれ、四国から出場したアマチュアの片岡大育選手(写真、詫間)が通算7アンダーの137で、同スコア三好隆平とのプレーオフを制し初優勝した。三好は昨年のシニアツアー賞金王。同大会のママの優勝は1980年の倉本昌弘以来、実に27年ぶりの快挙。

それがまず鉄道が出来、車が出来、あまつさえ飛行機が登場して距離だけでなく時間まで短縮してきたのですからゴルフ愛好家やプロたちにとっては、このゴルフ場のブームの原因は

昔、英国でゴルフが始まった頃は、自分の脚以外には交通の手段が無かったのです。舟や馬車といっても近くのゴルフ場に行けるだけ。同

譲(松山国際)71、小峰尚宏(志度)同

た。シニア入りから4度目の挑戦での初V。成績次のとおり。

①江西博文138 ②小松将美143 ③井上幸伸(土佐トピア)144 ④以上日本シニア ⑤池本巧(鳴門)千原喜清(同)谷口幸司(琴平)145

ミッド長尾(徳島)新王座 グランド藤岡(香川)連覇

第14回四国ミッドシニアグラン ドシニア選手権(9月19・20日、坂出CC、ミッド6407ヤード、パー72、100人参加)グランド6000ヤード、同、56人参加)

炎天下、2競技とも緊迫した優勝争いとなった。ミッドは初日69をマークした長尾取之介選手(徳島の快走かと思われたが、2日目6位タイ発進の三好嘉征選手(久万)に追いつかれプレーオフ決戦に。三好選手

の痛恨のOBで長尾選手が初優勝した。

グランドは初日から激しい首位争いの末トップに立った藤岡一助選手(黒潮)が逃げ切り連覇を果たした。成績次のとおり。

ミッドの部 ①長尾取之介148 ②三好嘉征148 ③岩崎二雄(高松ゴルド)152 ④以上日本ミッドシニア ⑤十川武志(アルファ津田)倉本隆(琴平)猪野進郎(土佐内田勝久(ロイヤル高松)154

グランドの部 ①藤岡一助149 ②伊東隆弘(新居浜)150 ③松岡孝雄(タカガワ新琴南)152 ④以上日本グランドシニア ⑤横井信正(滝の宮)154 ⑥松家義信(志度)中本阪登(大洲)157

▽男子15・17歳の部 ①原敏之(寒川高)142 ②新田瑞威(同)143 ③松山英樹(明徳)144 ④宮原大輔(同)146 ⑤橋本龍位(寒川)148、橋本和樹(明徳)同

⑦皆本祐介(寒川)149 ⑧齊藤翔太(香川西)151、里見侑亮(寒川)同 ⑩川原龍浩(明徳)152 ⑪以上日本ジュニア

▽女子15・17歳の部 ①森岡紋加(明徳)157 ②世古麻由(同)160、浜本風紗(同)同 ③以上日本ジュニア

▽男子12・14歳の部 ①手束将之(徳島板野中)153 ②山岡成稔(鳴門教大付)154 ③原周平(香川香南中)158、大野由真(明徳中)同 ④位のみ日本ジュニア

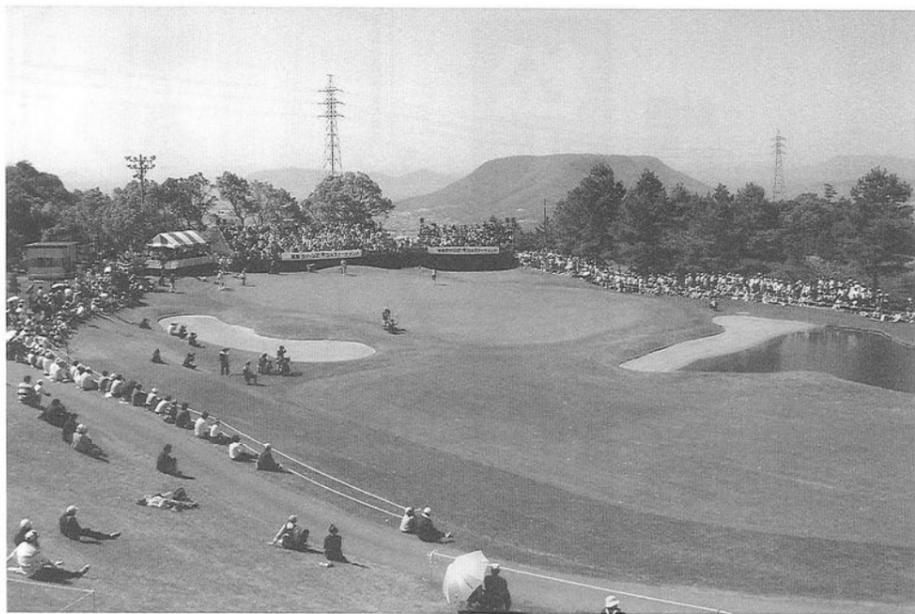
▽女子12・14歳の部 ①堀奈津佳(徳島城西中)151 ②浜美咲(徳島立江中)159 ③鈴木愛(徳島三加茂中)162 ④位のみ日本ジュニア

▽男子15・17歳の部 ①原敏之(寒川高)142 ②新田瑞威(同)143 ③松山英樹(明徳)144 ④宮原大輔(同)146 ⑤橋本龍位(寒川)148、橋本和樹(明徳)同

⑦皆本祐介(寒川)149 ⑧齊藤翔太(香川西)151、里見侑亮(寒川)同 ⑩川原龍浩(明徳)152 ⑪以上日本ジュニア

▽女子15・17歳の部 ①森岡紋加(明徳)157 ②世古麻由(同)160、浜本風紗(同)同 ③以上日本ジュニア

プロの技を見ようとギャラリーの人垣が(07年女子プロトーナメント最終18番のグリーン)。背後に屋島が見える



# おらが倶楽部でござる

## 其の二十九 屋島カントリークラブ

屋島カントリークラブが開場したのは昭和50年11月。地元の旧牟礼町(昨年高松市と合併)のゴルフ好きの有志が、コース建設のための運営会社を設立してから4年目でした。用地確保が進まず紆余曲折をへてオープンだったようです。

矢で射ぬいたとされる的の扇という徹底ぶりでした。(屋島 標高300メートル弱)

近々、シニアゴルファーの増えた昨今、「ちよつとワンラウンド」と急な話がまとまっても気軽に来場いた

取り組むことになりました。以降10年。その間、平成13年から女子プロゴルフのトーナメント会場となり、今年まで7年連続で開催してまいりました。無事に大会運営を続けられたのは、当クラブの役員さんや全国各地のボランティアなど多くの方々のご協力のおかげと心から感謝いたしております。

お接待の心忘れず  
大会には女子プロゴルフ界をリードするトップ選手が出演して興奮と感動のドラマを演じてくれました。地域の皆様には直接、名勝負の数々に触れていただき、ゴルフの面白さと興味、理解を深めてもらえたいと思います。

「松山ロイヤルGC」  
大昔からインシシは「馳走だつたよ」だ。その証拠に縄文期の貝塚などからインシシの骨がたくさん出土している。また鍋のない時代、どんな調理をしたのだろう。

仲間とにぎやかに  
豚肉は脂の乗る冬場が美味なので、鍋は11月から来春3月までの限定メニュー。具材は季節野菜などたっぷり。だしは松岡斎チーフ自慢の醤油ベースのあっさり味。鍋の良さは、出来たて煮たてを目の前で味わえること。好みの具材を鍋に入れ、少し心身ともにホッカホカ。少々値段は張るが、仲間といっしょに、にぎやかに鍋をつつく楽しさは格別。一人前二千五百円、要予約、三人前からOK。

# 眼下に一望 屋島めがけ 源平古戦場 フルショット

開発前の事前調査の際、眼前に見える源平合戦の古戦場「屋島」の勇姿に感動してクラブの名称にしたと聞きます。また、コース名もアウトを「源氏」、インコースを「平家」、さらにヤーデージ板は屋島を型どり、ティーマークには那須与二が

溶岩台地。昔は八島と書いたが形が屋根に似ているので屋島と呼ばれるようになった。江戸時代の新田開発で陸続きに近くなった。当クラブの長所は、市の中心部から車で約20分足らずという距離の

さて、順調に営業を続けているかに見えた当クラブが平成7年業績不振に陥り、平成9年3月には高松地裁の和議決定を受け経営再建に

お接待の心忘れず  
大会には女子プロゴルフ界をリードするトップ選手が出演して興奮と感動のドラマを演じてくれました。地域の皆様には直接、名勝負の数々に触れていただき、ゴルフの面白さと興味、理解を深めてもらえたいと思います。

これらの高野聖の宣伝が行き過ぎて、かえって大師の徳を落としていくところもあるのではないかと。高野聖といつても下働きの坊主たちで風呂焚きでさえ湯聖と呼ばれ聖が偉いわけではない。

秋の松花堂弁当 (四国CC)  
今秋から登場した新しいメニュー。器の中に仕切のある弁当箱に季節の新鮮な食材を使った七種類のおかずとご飯を彩り良く盛り合わせた岡田明料理長がおすすめの品である。写真の上段左から太刀魚の塩焼きに小鉢、向付けはかんばんと鯛の刺身。下段はご飯のちやきん寿司に煮物と水物。これにみそ汁がつく。

旬の味がたっぷり  
「松花堂」の由来は江戸時代初期の学僧で書画家としても有名だった松花堂昭乗が、自分の絵の具箱に作った器を、昭和の始めに大阪の名料亭「吉兆」の主人が懐石料理の弁当箱に利用したのが最初とか。一人前千八百円。

## お四国随想

## 手島皓一

弘法大師といえは大師を大事にしなかつたので仏罰が下つたという伝承が各地にある。八十八カ所にも何カ所かにそんな話が残っている。

著者の名は忘れたが、以下のような意見が述べられていた。高野山である程度の教育を受けた高野聖た

もちろん衝門三郎なる人物は居たかもしれない。その人物が大師の徳を汚すようなことがあり、それを悔いて八十八カ所を廻り、大師の修業を真似たのが話の始まりだろう。誇張されたのは高野聖たちのひいきの引き倒しではないだろうか、と司馬遼太郎も同じようなことを書いていたので私も納得した。

大師は高野山で入定され、その亡骸は安置されているといわれるが、記録によると西暦835年3月21日に入定、その時の淳和上皇の御用書には茶毘に付されたと書かれている。余りにも遠い昔のことで真実はわからない。

今年度の四連競技もあと11月1日の四国レイニス大会(滝の宮CC)を残すだけとなりました。地球温暖化の影響か、今年の夏の暑さは尋常ではなかった。8月の小中学生大会では子供たちが多く聞きます。小中学生大会でチビ選手も元気に競技を終えたのは、日ごろの練習の成果でしょう。

今年度の四連競技もあと11月1日の四国レイニス大会(滝の宮CC)を残すだけとなりました。地球温暖化の影響か、今年の夏の暑さは尋常ではなかった。8月の小中学生大会では子供たちが多く聞きます。小中学生大会でチビ選手も元気に競技を終えたのは、日ごろの練習の成果でしょう。



弘法大師といえは大師を大事にしなかつたので仏罰が下つたという伝承が各地にある。八十八カ所にも何カ所かにそんな話が残っている。二十四番最御崎寺では喰わずの芋があり、また井戸水を与えなかつたため井戸が涸れたり、梨の実が硬くなつて食べられなくなつたなどの話もある。

弘法大師といえは大師を大事にしなかつたので仏罰が下つたという伝承が各地にある。八十八カ所にも何カ所かにそんな話が残っている。二十四番最御崎寺では喰わずの芋があり、また井戸水を与えなかつたため井戸が涸れたり、梨の実が硬くなつて食べられなくなつたなどの話もある。

弘法大師といえは大師を大事にしなかつたので仏罰が下つたという伝承が各地にある。八十八カ所にも何カ所かにそんな話が残っている。二十四番最御崎寺では喰わずの芋があり、また井戸水を与えなかつたため井戸が涸れたり、梨の実が硬くなつて食べられなくなつたなどの話もある。

弘法大師といえは大師を大事にしなかつたので仏罰が下つたという伝承が各地にある。八十八カ所にも何カ所かにそんな話が残っている。二十四番最御崎寺では喰わずの芋があり、また井戸水を与えなかつたため井戸が涸れたり、梨の実が硬くなつて食べられなくなつたなどの話もある。

弘法大師といえは大師を大事にしなかつたので仏罰が下つたという伝承が各地にある。八十八カ所にも何カ所かにそんな話が残っている。二十四番最御崎寺では喰わずの芋があり、また井戸水を与えなかつたため井戸が涸れたり、梨の実が硬くなつて食べられなくなつたなどの話もある。

弘法大師といえは大師を大事にしなかつたので仏罰が下つたという伝承が各地にある。八十八カ所にも何カ所かにそんな話が残っている。二十四番最御崎寺では喰わずの芋があり、また井戸水を与えなかつたため井戸が涸れたり、梨の実が硬くなつて食べられなくなつたなどの話もある。

弘法大師といえは大師を大事にしなかつたので仏罰が下つたという伝承が各地にある。八十八カ所にも何カ所かにそんな話が残っている。二十四番最御崎寺では喰わずの芋があり、また井戸水を与えなかつたため井戸が涸れたり、梨の実が硬くなつて食べられなくなつたなどの話もある。

弘法大師といえは大師を大事にしなかつたので仏罰が下つたという伝承が各地にある。八十八カ所にも何カ所かにそんな話が残っている。二十四番最御崎寺では喰わずの芋があり、また井戸水を与えなかつたため井戸が涸れたり、梨の実が硬くなつて食べられなくなつたなどの話もある。

弘法大師といえは大師を大事にしなかつたので仏罰が下つたという伝承が各地にある。八十八カ所にも何カ所かにそんな話が残っている。二十四番最御崎寺では喰わずの芋があり、また井戸水を与えなかつたため井戸が涸れたり、梨の実が硬くなつて食べられなくなつたなどの話もある。

## 編集を終えて

今年度の四連競技もあと11月1日の四国レイニス大会(滝の宮CC)を残すだけとなりました。地球温暖化の影響か、今年の夏の暑さは尋常ではなかった。8月の小中学生大会では子供たちが多く聞きます。小中学生大会でチビ選手も元気に競技を終えたのは、日ごろの練習の成果でしょう。